

子どもの未来思う心が響き合った交流事業

福智町からはるか南西90kmに位置する中城村。遠く離れた兄弟都市がそこにあります。両町村の交流が始まったのは旧方城町時代の平成7年。開始から一度も絶えず続くこの事業は今回で24回を数えます。

当時方城町の子ども会が活動の一環として沖縄県での平和学習を企画。福岡県を通して交流先の募集をかけた時に、真っ先に手を挙げたのが中城村でした。発足時から代表を務める新垣勇会長は「きっかけは沖縄県から出たことのない村の子どもに雪を見せたいと思ったこと。異文化を自らの目で見て、体験することは子どもの成長・教育において大きな意味を持つと思った」と当時を振り返ります。始まった交流事業は、当初は福智町からの訪問のみで、交流も短時間でした。やがて宿泊研修の開始、ホームステイの実施や相互訪問の実現など事業内容は進化・整備され、回を重ねるごとに両町村の距離は近づいていきました。

20年以上の交流を経て子ども会悲願の町村提携

長年続く事業は子どもたちの交流だけにとどまらず、引率する実行委員の間の絆も生まれました。メンバーが変わってもその関係は育まれ、お互いの訪問時には手厚く歓迎。親交が深まる中で、より進んだ交流ができるかと議論が交わされていきました。そして平成28年3月5日、

21年という長きにわたり育んできた両町村の友情は、兄弟都市提携という形で実を結びます。福智町側で行われた調印式で嶋野勝町長と浜田京介村長は固い握手を交わし、提携書に力強くサイン。一つの事業が両町村を動かし、そして新たな段階へ進んだことを示す記念すべき日となりました。

平成7年

交流事業開始

迎えた初の交流事業。当初は中城城跡でグラウンドゴルフを行う約2時間の交流でした。

平成16年

中城村初来町

開始から9年、ついに福智町訪問が実現。一面の雪景色は子どもたちに感動を与えました。

平成28年

兄弟都市提携調印

固い握手を交わす嶋野勝町長と浜田京介村長。提携書に調印し、正式に兄弟都市に。

兄弟都市の由来... 以前から千葉県旭市と姉妹都市提携を結んでた中城村。そのため福智町との提携の際には一般的な「姉妹」ではなく「兄弟都市」という呼称で両町村の友好を表現しています。



↑中城村の世界遺産「中城城跡」からの眺望。「沖縄本島の半分を一望できる」と言われる村が誇る県内有数の観光スポットです。

沖縄県 中城村

福岡県 福智町

21,284人

23,012人

8,584世帯

11,202世帯

15.46 km²

42.06 km²

ハイビスカス

藤

中城村子ども会育成連絡協議会 新垣勇 会長

福智町子ども会育成連絡協議会 永末信一 会長



予算の問題もあり福智町訪問まで9年の月日がかかりました。多くの人の支えで困難を乗り越え今の交流がある。初めて訪問できた時の感動を、今後も子どもたちに伝え続けたいです。

旧町時代から24年、これほど長く続く事業は他に思い当たりません。ともに交流を築いた私たちには切れない絆がある。この交流が子どもたちの成長につながることを願っています。



福智町の兄弟都市、沖縄県中城村——。 24年の歳月をともに歩んだ絆

旧方城町と沖縄県中城村、同じ「城」の字を持つ両町村の思いが交わりスタートした交流事業。かつてふたつの子ども会が始めたこの活動は、町村を動かし、兄弟都市にまでその絆を深める架け橋となりました。



2018シーズン最多勝! 埼玉西武ライオンズ
多和田 真三郎 投手



シンガーソングライター
普天間 かおり さん

初対面では内気でも、打ち解けるとどこまでも相手を迎え入れる温かさを持つ中城村のみなさん。福智町のテーマソング「月夜歌」を手がけた普天間かおりさんも中城村出身の一人です。また15試合連続KO勝利の日本記録を持つ元ボクシング世界王者「浜田剛史氏」や昨年最多勝に輝いた村初のプロ野球選手「多和田真三郎」投手など多方面で活躍する著名人を輩出しています。



著名人も多数輩出!
 活躍続ける中城人

あお ちゅ 碧き美ら島・沖縄で生まれた衣・食・住・文化…個性豊かな「とよむ中城村」

メジャーな名所から隠れた魅力まで!

福智町の兄弟都市 なかぐすくを知る



村を象徴する世界遺産
「中城城跡」と英雄「護佐丸」



中城城は自然の岩石と地形的条件を巧みに生かしながら美しい曲線で構成された6つの郭からなる城(グスク)です。かつて琉球王国に存在した300余りのグスクの中でも中城城跡は沖縄戦による被害が少なく、県内で最も原型を留めるグスクとして、歴史的、戦略的に極めて高い価値を誇っています。15世紀中頃に城主「護佐丸」が北の郭、三の郭を当時の最高の築城技術で増築。琉球戦国時代の英雄「護佐丸」は王への忠誠を全うし自



↑1853年にペリー艦隊が派遣した「琉球探検隊」の絵師・ハイネも中城城を描くなど、高度な建築技術に海外も注目。



村のゆるキャラ「護佐丸」

↓「中城城」は3年前に開館した「護佐丸歴史資料図書館」のモデルに、「護佐丸」は村のマスコットキャラクターになるなど村民から深く愛されています。

豊かな風土が築いた独自の伝統芸能と史跡の一部をご紹介します!



ターファークー
伊集の打花鼓 県指定無形民俗文化財
 中国の移民が伝え、伊集地区のみに残る衣装鮮やかな行列踊り。独特の曲にのせたひねりや屈伸を加えた動きの激しさから、20歳前後の若者だけで演じられます。

とうま
当間の大綱引き
 毎年7月に2本の太綱をつなぎ、地域が上下に分かれて引き合う120年以上続く歴史ある綱引き。7年ごとに一回り大きいマールジナと呼ばれる綱を引合います。



つは
津覇のエイサー
 太鼓の勇壮なばちさばきと女性の華麗な手踊りが見る人を魅了。刻々と変わる隊列も魅力の一つで、終盤に向け徐々にテンポを早める手法は津覇独自のものです。



ペリーの旗立岩 村指定史跡
 ペリー提督率いる調査隊が中城城跡の手前でこの岩山に旗を立て、征服記念に祝砲を撃ったとされる大岩。「日本遠征記」にも詳細なスケッチが残されています。

あさと
安里のテラ 県指定有形民俗文化財
 テラとは神の鎮座する所を意味し、子孫繁栄、無病息災を祈願します。祠内にはビジュルと呼ばれる霊石が祀られ、沖縄の霊石信仰を知るうえで貴重な史跡です。



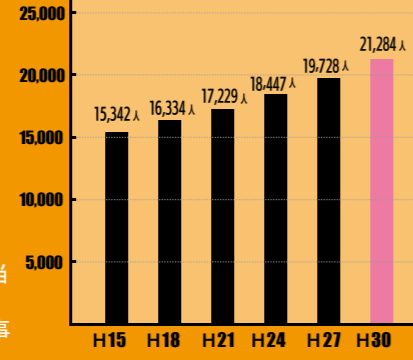
つは
津覇の獅子舞 / わうけ
和宇慶の獅子舞
 福智町と比べて大型で、ふさふさした毛並みを持つ中城村の獅子舞。柔のメス、剛のオスの舞を一頭で踊り分けるのが津覇の特徴です。和宇慶では、普段は公民館に「神獅子」として安置され、地区内でのみ演じられる神聖なものとして認知されています。



護佐丸歴史資料図書館

曲線が美しい最高の石積み技法で築かれた中城城

中城村は沖縄本来の伝統や自然を残しながらも都市部へのアクセスもよく、どこか福智町とは似ているように思います。ぜひ実際に訪れて村の魅力に触れてみてください。



↑人口増加数は国内全村中1位。学校新設が追い付かないほど順調な増加を記録中。

中城村人口推移

自然豊かな中城村内で、琉球大学に隣接する「南上原地区」は整備が進み近代的な都市を形成。沖縄本来の自然と共生する都市を目指した都市計画で、沖縄で一番人口の多い地区となつています。



琉球大と発展進む「南上原地区」



↑定番のそばに、よもぎを入れて食べるのが現地の通な食べ方。



沖縄を代表する伝統食「沖繩ソーキそば」



↑県内生産、沖縄らしいデザインが条件の多様な「かりゆし」。

沖繩県の気候に合わせ、主に麻で作られるこのシャツ。ビジネスにおいても多くの県民が着用し、冠婚葬祭にも用途が広がるなど、夏の正装として幅広い世代に認知されています。



欠かせない万能着「かりゆしウェア」

中城村役場広報担当
 ⑥ 謝名堂優美 主事
 ⑤ 比嘉秀哉 係長

バスケの試合を機に福岡へ、事業を越えた交友

中城村(津覇小5年)
新垣 慧 くん

10月にバスケの試合が福岡であり、すぐに連絡しました。声援がとてうれしかったです。これからもずっと友達でいたいです。



福智町(金田小5年)
大里 暖道 くん

福岡に来ると聞いて喜んで会いに行きました。最初は嫌だった沖縄でも、友達ができて楽しく過ごすことができました。また家族で遊びに来てほしいです。

「平和学習」「異文化体験」…互いに学び、体感する。特別な時間

沖縄で学ぶ平和(命) 福智で触れる自然(雪)

10年前に福智町訪問、参加者から担当者へ



中城村生涯学習課
交流事業担当 新垣 臣佳 主事

担当となって初めて事業に込められた思いや苦勞を感じ、村への愛情、仕事に対する誇りをより深く持つことができました。守りつながらきたこの交流を、私たちが次の世代に残していきたいと思います。



沖縄に息づく「いちゃりばちよーでー」の心。この言葉の意味は「一度出会えば皆兄弟」。毎年新たな出会いが生まれる交流事業で、子どもたちは一期一会のかけがえのない体験をし、人生の大きな財産を得ています。

兄弟都市提携を機に、両町村の関係は交流事業以外にも広がりをみせ始めています。今回の訪問の際には中城村の広報担当が視察のため初来町。また1月19日から2日間行われた「とよむ中城産業まつり」で福智町の特産品が販売されるなど、両町村の関係は着実に深まってきました。今後は積極的な人事交流やイベントでの協力など、多方面での連携が期待されています。子ども会活動から始まり町村全体の事業にまで成長した両町村の交流は、今も紡がれてきた思いを乗せて、新しい歴史を刻み続けています。

子どもの交友を越えて
その先の町村連携へ

夏に沖縄を訪問した子どもたちが冬の受け入れにも参加している現在の交流事業。そこには深くお互いを知り、友情を育んで欲しいとの願いが込められています。「福智で雪が降らなくても、英彦山に行けば見せることができる。その時々に見える全力のおもてなしで子どもたちの最高の思い出を作ってもらいたい」と語った永末会長。両町村ともに受け入れの際には自分の町・村にこだわらず、県内を広く案内することで、より子どもの感性を伸ばし、異文化を体験する機会を設けることを目指しています。

子どもの体験と成長願う
特色生かしたおもてなし

H31.1.18 — 1.20
中城村・福智町

「交流会」

「異文化体験」を目的に中城村から18人が来町。暖冬で事業開始以来初めて雪を見ることができませんでしたが、沖縄には無い電車やもちつきなどを体験。7月からホームステイや研修で絆を育み続けた両町村は、別れを惜しみ、再会を誓い合いました。



福智町

H30.7.28 — 7.30
沖縄平和学習

「少年の翼」

「平和学習」を目的に福智町から31人が参加。訪問前には4度の事前研修を行い、沖縄県の文化や沖縄戦の歴史を学習し、交流に臨みます。悲惨な戦争を経験した沖縄でこそ得られる「命どう宝」の精神は子どもたちの心にしっかりと刻まれました。



中城村



最新機器も体験！ふくちのち見学



動物たちと触れ合えた到津の森公園



炭都・筑豊の歴史学んだ石炭歴史博物館



笑顔あふれた半年ぶりの再開対面式



異文化感じて交流深めたもちつき体験



伝統工芸を体感した上野焼絵付け体験



感謝を伝え、再開願ったお別れ会



思い出のお土産にシーサー絵付け体験



琉球王国の歴史感じた首里城



解説とともに世界遺産をめぐった中城城跡



緊張の初顔合わせ対面式



沖縄の海の神秘に感動した美ら海水族館



平和への祈り届けた沖縄平和記念公園



学び楽しんだ護佐丸歴史資料図書館

いよいよ福智町成人式
**未来を担う
 新成人大集合!**
 一友人・恩師と久々の再会

平成30年度 福智町
成人式

対象者は平成10年度生まれ、
 例年より多い7割以上が参加。
 198人が会場で一堂に会しました。

- ◆新成人総数 272人(198人)
- ◆地区別人数
 赤池: 90人(71人)
 金田: 104人(68人)
 方城: 78人(59人)
- ※()内は参加者数



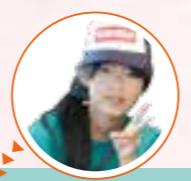
「伝統のお祭りに遭遇。白い仮面の
 人に追いかけれ、必死に逃げた」



「海がキレイで色んな友達ができ
 ホームステイも楽しかった」



「沖縄のお風呂はお湯をためず
 シャワーが基本なのが驚いた」



「ホームステイ先で参加した地域の
 イベントがとても楽しかった」



「地元公民館で大歓迎のおもてなし、
 美ら海水族館も感動した」



「ホームステイ先の家族と仲良くなり
 中学生の間も交流していた」



「沖縄戦の悲惨さを現地で学んだ。
 元学徒隊の人の話が心に響いた」

小学5・6年生時に2回交流事業
 に参加した新成人に、沖縄での
 思い出をこれからの歩みについて
 インタビューしました。

沖繩中城村交流事業の
 参加者に聞いた
二十歳の声
 VOL.1



今月からロサン
 ゼルスにいきま
 す! 英語、韓国
 語、中国語など
 マスターしたい!

森 滯 歌 さん



4月から東京で
 ホテルマンとし
 て働きます。多
 くのお客様を笑
 顔で迎えます!

川 端 春 輝 さん



異文化が好きで
 英語を勉強中!
 来年は北欧に留
 学してやりたい
 ことを見つけます!

井 上 彩 さん



今は、看護学校
 で勉強中! 患者
 さんを不安にさ
 せない看護師に
 なります!

藤 村 侑 彩 さん



スタイリストとし
 て働いています!
 春からは初めて
 の子育てと仕事、
 両方頑張ります!

居 原 羽 蘭 さん



薬剤師・臨床工
 学技士の資格を
 とりたい! 国際交
 流で今年イタリ
 アへ行きます!

宮 川 亜 弓 さん



小4のときから
 の夢だった看護
 師になるため、
 来年の国家試験
 頑張ります!

井 藤 愛 さん

華やかな門出、

感謝を胸に。



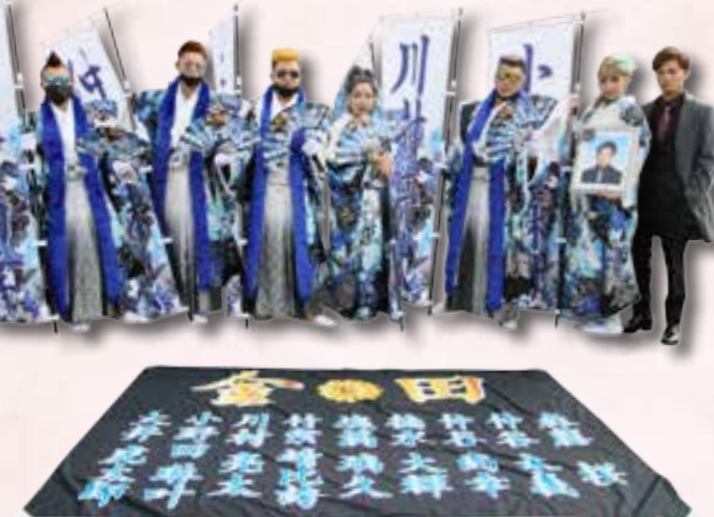
「成人の日」の前日にあたる1月13日、祝福と期待を受け、改めて感謝した新成人たち。華やかな和服や真新しいスーツが会場を彩りました。



晴れ晴れとした表情と少し緊張した面持ちで地域交流センターに集まった新成人たち。開式前の会場には再会を喜び合う歓声が響きました。式典には、恩師をはじめ20人以上の来賓が参列。人生の節目の日を迎えた祝福と心からの激励や昔の思い出話が語られ、会場は終始和やかな雰囲気になりました。

新成人を代表して宣誓した鈴木杏奈さん(赤池)は「この日を迎えられたのも家族や先生方、地域の方々のおかげです。思い返せば20年間、楽しく幸せでした。こうして成人となり身の引き締まる思いです。将来は看護師になって多くの人を支えたいです」と感謝と力強い決意を表しました。

式典後、会場前には記念撮影や再会を懐かしむ人たちであふれ、たくましく成長した子どもの姿に保護者も頬をゆるめました。夢に向かって一歩ずつ進んでいく新成人、彼らの描く夢がかなうことを願っています。



1 入場する艶姿 2 愛車と笑顔で登場 3 久しぶりの再会 4 新成人代表の鈴木杏奈さんが宣誓 5 副町長から記念品の上野焼を受け取る井藤愛さん 6 式典中の華麗な振り袖姿 7 恩師からのメッセージ 8 懐かしいスライドショーの上映 9 小学生時のタイムカプセルに大興奮 10 式典後に再会をよこさぶ新成人 11 小学生時の手形と足形をひろげて懐かしむ 12 同じ中学で集まり記念撮影 13 記念品の福智リッチジェラート受け取る新成人 14 思い出がよみがえってのハイタッチ! 15 新しいスーツに包まれた男前軍団



新成人に聞いた 二十歳の声 VOL.2

これからの目標や抱負をインタビュ。新成人に将来への思いを書いてもらいました。そのまなさは熱く輝いていました。

将来は思いやりのある看護師になりたいです!

今、愛知で働いています!たくさん貯金するバイ!

20代は一生懸命働きます!

決めた目標は必ず「叶える」の意味を込めて「叶」!

大好きな釣りやビッグになりたいです!

将来は空港で働く入国審査官になります!

これからはずっと大好きな絵を描き続けたいです!

夢はお金もちになることです!

パティシエになって多くの人を幸せにします!

